

会 議 録

会議の名称	行田市男女共同参画推進審議会(平成23年度第5回)	
開催日時	平成24年2月8日(水) 開会:午前10時00分・閉会:午前11時30分	
開催場所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者(委員)氏名	田代美江子、山崎孝子、井上文子、茂木美智代、西山カツ枝、中居恵子、青木敦子、増田豊、松島弘、大野久美子	
欠席者(委員)氏名	山岸泰輔、松本秀夫、田島和文	
事務局	浪江美穂(課長)、野中利子(所長)、石塚聖子(主査)、アドバイザー:都市環境研究所:大竹、庄司	
会議内容(議事)	(1)第3次ぎょうだ男女共同参画プランについて	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次ぎょうだ男女共同参画プラン(案)</li> <li>・第3次ぎょうだ男女共同参画プランについて(答申)(案)</li> <li>・「第3次ぎょうだ男女共同参画プラン」のスローガン(案)</li> </ul>	
その他必要事項		
会議録の確定	確定年月日	主宰者記名押印
	平成 年 月 日	⑩



事務局	<p>るということが、どこかに入れられるといいと思う。</p> <p>・施策の体系でハラスメントがどこに入るのか。セクハラはDVに収まっている。「ご存知ですか」ということで、用語の説明などを空いている部分に入れているが、その中でハラスメントも押さえていることをわかるようにするのはいかがか。</p>
議長	<p>・どちらかという雇用の場合。51ページに空白があるので、そういうことも視野に入っているということで入れるのはどうか。</p>
事務局	<p>・では、そこに「セクハラ」「パワハラ」ということで入れる。</p>
委員	<p>・39ページの防災の関係は3.11以降自治会で防災組織を増やしており、(1)②自主防災組織の結成促進及び育成は、今の時代に合いよいことと思う。</p>
委員	<p>・国や県の動向を踏まえた基本的な考え方ということで話があった、2ページの計画策定の主旨は、国があり県があり行田市があり大変分かりやすい。また、グローバル化が進んでいるので、6ページの計画の背景と上位計画からという部分は、その上に世界の動きがあり大変分かりやすい背景になっていると感じた。9ページの中程に「関心」が「感心」になっているので修正をお願いします。その課題の中、下のグラフを見ればわかるが「男性は女性自身が関心をもつこと」というのが、何の関心かわかりにくいので、言葉を足していただきたい。</p>
議長	<p>・かぎ括弧をつけた方がわかりやすい。</p>
事務局	<p>・かぎ括弧をつけると引用したということになり、文言を全部入れなくてはならないので検討してみる。</p>
議長	<p>・言い換えでなければ、一部引用でかぎ括弧はかまわないと思う。</p>
委員	<p>・9ページの「固定的役割分担」と「性別役割分担」の違いは何か。一般的に「性別役割分担」を使うが、ここは「固定的役割分担」が適しているのか。</p>
議長	<p>・問題は「固定的」ということで「役割分担」は家族の中でもある。全部ダメということではなく「固定的」に押しつけられるのがダメということだから、ここは「固定的」という方がいい。また、8ページで「、」と「,」が混在しているので修正願う。</p>
委員	<p>・2章の7、8から1、2に順番を上げたことはよい。計画の背景がわかりやすくなったこと、東日本大震災があった今の時期に取り上げ、防災だけでなく復興という言葉も入れ震災が発生した時の体制についても盛り込まれた。10年後を見据えたプランを立てたことがよかった。</p>
議長	<p>・スローガンについて伺う。「男女がともに参画できる社会の実現を目指して」という当たり前のことだが、他市ではあまりない直球型である。「男女」と入れることについては、性の多様性を考えると男女の二分法でよいのかという点が気になりはするが、「男女共同参画」との関連ではいいのかもしれない。また、第5次総合振興計画に基づいている点も評価できると思う。以前に行田市らしいものと</p>

	<p>いう意見もあったがいかがか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次総合振興計画のスローガンはもう決まっているものか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年4月から、計画に基づき市政は動いている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短い言葉の文章だが、ストレートでわかりやすい。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、スローガンはこれでいくこととする。これでプランの検討は終わるので、ひと言ずつお願いします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難しいという先入観があったが、読んでいて分かりやすいものができた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男社会での世の中で生きてきて、家族から自分の考え方は通用しないと言われたが、男女共同参画を勉強させていただいた。女性の就労支援で、ハローワークなどからのホットラインができないかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の体系から重点施策は字も大きくて読みやすい。前の文は字が小さく読みづらいが必要な情報なのでこれはこれでよいかと思う。色がついたらもっと読みやすい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような計画は、市のたくさんの課が関わっているのを知り、協力をしていくことの大切さを感じた。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固定観念を持つ年代もあるが、今の人達は積極的に子育てでも何でも参加しているので、プランの実現に期待が持てるようになってきたと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の現場では男女平等教育が行われている。若い世代は平等だと思える意識は高い。就職をする頃に世代により平等の違いを実感することが多くなる。施策が実現できれば、行田に住みたいと思う人が増えるのでは。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回パブリック・コメントに1件も意見がなかったのは残念。男女共同参画は一般の市民にはわからない、関心が持てないのかと感じた。もっと市民がわかるものにしたい。スローガンは、「男女がともに」ということがいい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度成長時代、国の方針で「男は仕事」の生活のパターンがあり、男女共同参画とか男女平等とか言われても困る年代もあると思うが、家庭科を男子もやり、小学校で男女共同参画の授業を行っている現在の教育は大事だと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を検討し立派な施策を作っても、絵に描いた餅では意味がない。10年間のプランで、設定の目標数値が素晴らしい数字になっているが、1年後、2年後はどうなったかという調査は計画があるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、進捗調査は実施していたが、審議会に諮ることがなかった。来年度から計画に基づいた結果について、審議会にて意見を返してもらい庁内の行政推進会議に報告する。プランを作った終わりではなく、この審議会と行政の推進会議とで作ってきたという経緯があり、事業課も責任をもって男女共同参画の視点を持ち関わっているので、今後の施策や報告、実効性についても担保</li> </ul>

委員	<p>していけると思う。進捗状況により5年で見直しもある。</p>
委員	<p>・ここでたくさんの施策を考える価値がある。その結果の報告をお願いしたい。</p>
議長	<p>・54ページで違和感があるのは、目標の指数のところで、「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感すると書いてあるが、同感するという言葉は、本来は賛成するという意味で、本当は賛成してほしくないということである。上の方の文章にも出てくるが、同感するという言葉が引っかかる。</p>
事務局	<p>・もともと 12%しかいないが、同感してはダメだからこれを減らすというのが目標で、調査自体がそういう項目なので、これを減らすのではなく同感するにかぎ括弧をつけるというのはいかがか。</p>
議長	<p>・9ページの市民意識調査から、行田の特徴として、どちらともいえないという人が多い。その考えは別とし、同感するという人を減らしていこうということと、男女間で意識が違う、その差を減らすということである。</p>
議長	<p>・使うのなら同感するは引用なので、これを使うのはいいと思う。目標指標は男女差の縮小にし、指標の考え方として、男性を10%位まで引き下げるといような具体的な数値を入れ、男性の同感する人を減らしていくという考え方にし、数値目標はこのままにするというのはいかがか。男性を引き下げること、男性の同感する人の率の引き下げによって男女差を縮小するというように指標の考え方の書き方を変えて、現況値・目標値はこのままでいくということする。</p>
委員	<p>・全体はとても分かりやすく、体系図もいい。</p>
議長	<p>・絵に描いた餅にならないようにするために行政推進会議を実施してもらう。重点施策の右側のページは各課が自分たちで出したものなので当然取り組むことになる。それを見守っていくのがこの審議会ということになる。文章を形式的に作って終わりということもあるが、皆さんが積極的に参加して自分たちで作ったプランという意識を持っていただけたのではないかな。引き続き、答申ということで、手元に答申の文章があるがこれでよいか。</p>
委員	<p>・意見なし</p>
議長	<p>・では、4のその他について事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>・75 ページの委員名簿に名前が載っているが、肩書き、誤字などないか。また、今後の予定は、ただ今出た意見をもとにこれを修正し、3月上旬にプランが出来上がり、委員に3月中に送付をし、全戸配布の市報4月号に、男女共同参画プランができたということ、市民の方に周知をする。</p>
議長	<p>・以上で議事をすべて終了ということで、委員の皆様、事務局の皆様ありがとうございました。</p>
副会長	<p>・閉会あいさつ</p>